

令和元年度スタート！

新しい時代令和が幕開けしました。新しい自分を発見できそうな気がします。こうした節目は自分を変えるチャンスです。今までと違う何かにチャレンジしていきたいものです。学校は、10連休の後、4月に子どもたちと作ってきた学校の生活リズムや習慣を立て直し、新しい目標に向かって歩み続けています。5月26日(日)には、大きな行事である運動会を行います。13日より運動会の練習が始まりました。炎天下の中、毎日2時間以上の練習に子どもたちの疲労は溜まりがちです。栄養や睡眠を十分とっていただきますようお願い致します。

○家庭訪問ありがとうございました

10連休前の大変お忙しい中、家庭訪問にお伺いさせていただき誠にありがとうございました。今後も学校と家庭が密接に連携して、子どもたちの育成に努めていきたいと考えています。

○歓迎集会・遠足 10日(金)

各クラスの代表者が作る花のアーチを潜り抜けて、新一年生が入場しました。今年の1年生も、とても元気がよくて、やる気に満ち溢れています。大きな声で元気よく返事やあいさつができました。また、声をそろえて歌を歌ってくれました。集会では、運営・集会委員会の先輩たちがクイズや木屋瀬小へ行こうよゲームをしてくれました。楽しい時間を過ごせました。

集会の後は、運動場に整列して、新しくできた金剛中央公園に遠足に出かけました。昨年度は雨で行けなかったのが今年では行けて良かったです。

○学校探検1・2年生

毎年恒例となっている、2年生が1年生を連れての学校探検がありました。2年生が初めて先輩になっての行事です。とっても頼もしく見えました。

○運動会26日(日)

13日(月)より運動会練習が始まりました。急に暑くなり、子どもたちの体調が心配です。早寝・早起きと共に、朝ごはんや給水をしっかり取ること、手洗い・うがいなど体調管理にご配慮下さい。



運動会となると、運動を楽しむより、人に勝った、負けたなど勝ち負けにこだわり、意欲を失う子がいます。子どもたちは運動会当日、家族などたくさんの方に褒めてもらえるのを楽しみにしています。今の自分より速く走れるようになるために、上手に演技できるように、毎日の練習を一生懸命頑張ることを目標にしています。

運動会当日は、勝ち負けよりも、最後まで一生懸命頑張る姿を褒めていただきますよう、また、自分のお子様だけでなく、どの子も励ましていただきますようお願いいたします。

○テント張りありがとうございました

運動会前のテント張りに保護者の方のご協力をありがとうございました。テントの陰で給水をとりながら練習に励むことができます。ご協力に感謝いたします。

シリーズ 子育て応援 ～校長の独り言～

古い常識で子どもの未来を考えていませんか？

子どもを「ダメな大人」にする36の悪い習慣 田嶋英子より

子どもたちが大きくなった未来はどうなるでしょう。今後10年もしないうちに仕事も社会も目まぐるしく変わっていくでしょう。

今アマソンの物流倉庫内で動いているのはロボットです。ネットで注文が入ると、最短ルートでロボットが商品を運んできて2時間以内に発送することが可能です。

スーパーでの買い物も店に入って商品を手に取り、持っていけば自動で精算されるシステムが開発中です。

働き方の常識も大きく変わります。転職は当たり前前の時代になり、副業禁止からダブルワーク、トリプルワークも当たり前前の時代に入ろうとしています。「SE」システムエンジニアなど新たな仕事も増えてきます。

そんな変化の激しい時代を、これからの子どもは生きていくのです。今までの常識を変化させ、時代に柔軟に対応できる力が必要となります。では、今何をすれば良いのでしょうか。

わからなくても最善を尽くす

わからない未来をどう生きていくのか。わからないから何も手を打たず行き当たりばったりでいくのか。わからないながらも、その時々で最善を尽くすことが大切です。不満を言うよりできることを探す姿を親が見せましょう。

自分で自分の長所や強みを認める

日本の子どもたちは、他国より自己肯定感が低いと言われています。1つ褒められたとき、照れくさくて3つくらい自分のダメなところの話をしたり、別の話題に変えたり…。

「認めてほしい」「褒めてほしい」と思いながら、常に「わかってもらえない」「認めてもらえない」そんな不満感をもっているのです。

人から褒められたら、素直に感謝して受け取るように助言しましょう。自分の良さを自分で認めることができると、自信をもてるようになります。自信をもつと、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジすることができます。

子どもは親が望んでいる通りに成長する

子どもは親のことが大好きです。潜在意識で、親が自分に望んでいることを実現したいと願っています。親が自分に期待している姿になろうとします。

いくら、口で「早く自立しなさい」と言っても、「この子は頼りない。一人で起きることもできない」と思われていると、子どもはなかなか成長しません。

勇気を出して、「この子はできる」と決めましょう。

親が手を放した時、子どもの自立が始まるのです。

生活がんばりカードご協力ありがとうございます。子どもが頑張るので嬉しいとの声を頂いています。